

この星の、あらゆるものづくりの始まりに。



THE FIRST ENGINEER

日本製鋼所

JSWのビジネスフィールド



産業機械

工場や事業所で使用されており、様々な産業分野で活躍している。



自動車

世界でも一般的な移動手段として使われ、人々の生活を支えている。



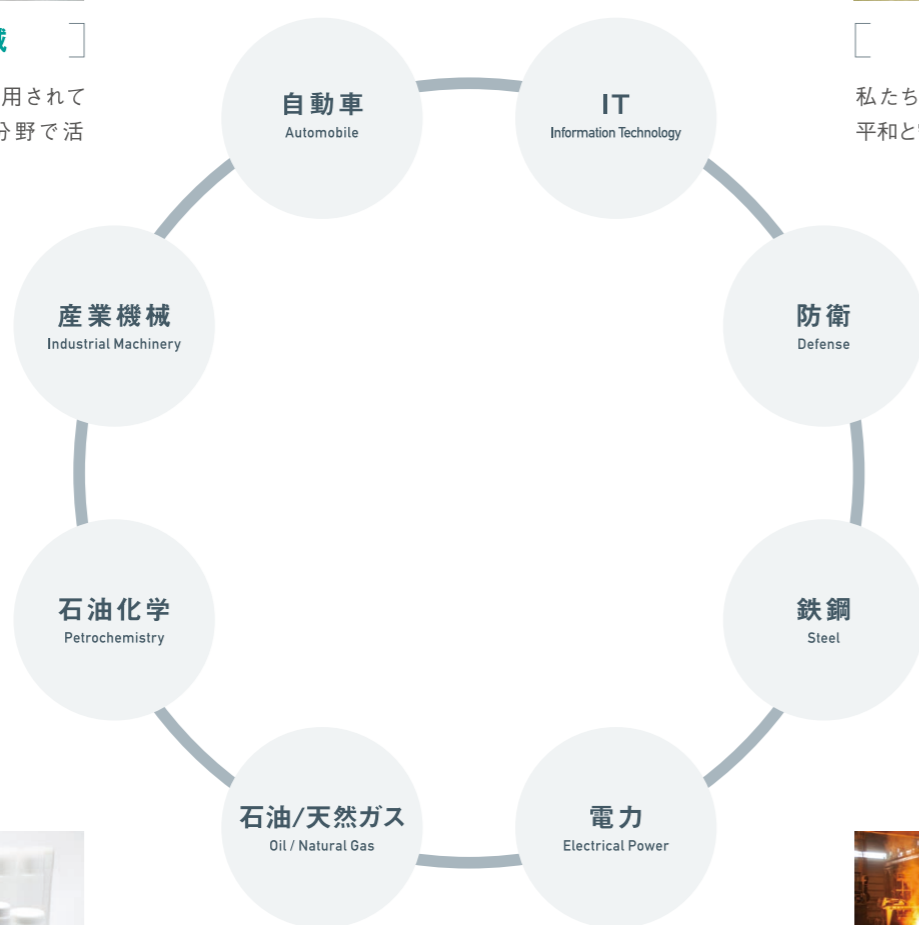
IT

スマートフォンから各種機械制御まで日常生活に必要な不可欠な技術。



防衛

私たちの日々の生活を守り、平和と安全を担っている。



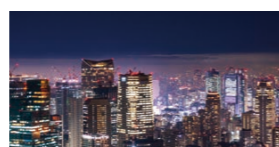
石油化学

現代社会で一番身近な石油化学品はプラスチックであり、日常生活には欠かせないものになっている。



石油 / 天然ガス

私たちのインフラを支える上で欠かせない化石燃料。これらを加工、消費することで私たちの生活は成り立っている。



電力

様々な発電設備から誕生する電気。24時間365日使い続ける私たちの生活に欠かせない存在。



鉄鋼

世の中の構造物やインフラ設備には必ず鉄が使われており、様々な形や強さで私たちの生活を支えている。

社会と共存するJSW

1

大型造粒機・二軸混練押出機

石油(ナフサ)からプラスチックの原料を製造するための機械



2

フィルムシート製造装置

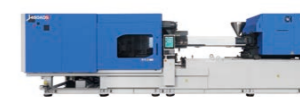
原料をフィルムやシート状に加工するための機械



3

射出成形機

原料からプラスチック製品に成形するための機械



4

防衛関連製品

各種装備品の火砲を製造

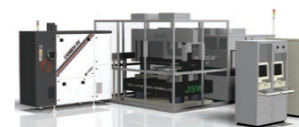


JSW
THE JAPAN STEEL WORKS, LTD.

5

エキシマレーザーアニール装置

スマートフォンやタブレットの液晶パネルを製造するための機械



6

水素蓄圧器

水素ステーションに設置される蓄圧器を製造



7

発電所向け鑄鍛鋼品

火力発電所や原子力発電所向け大型鑄鍛鋼品



JSW HISTORY

私たち日本製鋼所は100年を超える歴史の中で、多くの日本初・世界初と言われる製品を世に送り出してきました。

2020

名機製作所が誕生

2016年に完全子会社化した株名機製作所(産業機械関連事業)を吸収合併し、日本製鋼所4か所目の製作所へ。



素形材・エンジニアリング事業を分社化

素形材・エンジニアリング事業(鉄鋼関連事業)を分社化し、新生「日本製鋼所M&E株」が発足。

広島製作所創業100周年

1920年創業の広島製作所(産業機械関連事業)が100周年を迎える。次の100年に向けて工場再編を実施中。



2019

射出成形機出荷台数7万台を突破

1961年～製造販売している射出成形機の出荷台数が7万台を突破。今後も更なる飛躍へ向けて邁進中。



新規事業として、航空機製造に使われる複合材料の初出荷を実施。今後の成長が期待される。

航空機複合材料製品を初出荷

1996

レーザーアニール装置を上市し、パネル製造分野に進出

1972

特殊鍛錬法を開発し、原子力圧力容器部材の一体鍛造に世界で初めて成功

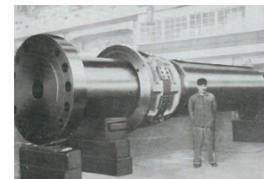


1961

ヨーロッパより技術導入を行い、射出成形機の製造・販売を開始

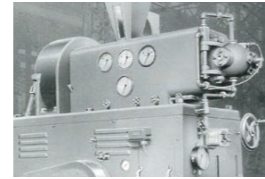
1945

民需への転換



1950

火砲製造の技術を活かして押出機を製作



1936

横浜製作所を設立



1920

広島製作所を設立



1907

創業

日英3社の合弁会社として兵器の国産化を目的に誕生。戦前は戦艦の主砲や砲身の製造などに注力。創業の地である室蘭製作所を設立。



日本製鋼所が求める人物像

1

チャレンジ精神
旺盛な人

2

課題解決能力が
高い人

3

自分の考え・
基軸をしっかり
持っている人

4

論理的思考が
できる人

5

粘り強く
行動できる人

適職チャート

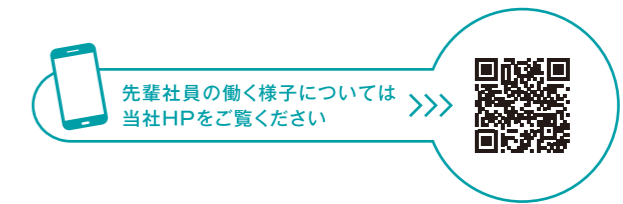
この表は学生の皆さんが学んでいる授業や専攻/研究内容が、実際の仕事においてどのようなところで活躍されるかを図式化したものです。「●」が専攻と職種の相関関係が強いものを示していますが、あくまでも各職種と専攻領域の関係を大まかに示したものですので、必ずしもその職種に限定されるものではありません。

| 系 | 専攻 | 職種 | | | | | | | | | |
|--------|--------------|----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------------|------------------|------------------|--------|--|
| | | 製品 機械 設計 総括 | 制 御 装 計 | 電 装 設 計 | 研 究 開 発 | 生 産 技 術 | (国 内 海 外) 業 | 生 産 管 理 | 人 事 総 務 | 経 理 | |
| 理 系 | 機械/精密 | ● | | | ● | ● | | ● | | | |
| | 電気/電子 | | ● | ● | | | | | | | |
| | 制御/情報 | | ● | ● | | | | | | | |
| | 材料(金属/無機/有機) | ● | | | ● | ● | | | | | |
| 文 系 | 化学 | ● | | | ● | ● | | | | | |
| | 数学/物理 | | | ● | | | | | | | |
| | その他理系 | ● | ● | ● | ● | | ● | | | | |
| 系 | 法律/政治 | | | | | | ● | ● | ● | | |
| | 経済/商/経営 | | | | | | ● | ● | ● | ● | |
| | 外国語 | | | | | | ● | ● | ● | | |
| | 社会学 | | | | | | ● | ● | ● | | |
| | 文学 | | | | | | ● | ● | ● | | |
| その他文系 | | | | | | ● | ● | ● | ● | | |

実際の採用、配属にあたっては表記の内容と異なる場合があります。

職種紹介

ここでは一部の職種について紹介していますが、この他にも様々な活躍フィールドがあります。



設計 / 製品総括 / Design / Product Management



お客様に寄り添った設計/製品総括のスペシャリスト

当社の設計/製品総括は、見積もり作成からお客様との仕様打ち合わせ、展示会での製品PRなど皆さんがイメージする一般的な設計業務だけでなく、各種製品の総括業務も担っています。実際に国内外問わずお客様のもとに出向き、立ち上げや現地試運転、納品後のサービス業務なども行っています。もちろん電装設計やソフト設計、制御関係についても自社内で実施しており、非常に多岐にわたる業務を経験できる職種です。

設計/製品総括職の仕事の特徴

当社製品のほとんどがオーダーメイドであるため、お客様が求めている必要なスペックなどのニーズを細かく聞いて製品に反映していくのはもちろんのこと、より良い製品を製造するために、多彩なスキルが習得でき、海外とのやり取りも多いことがあげられます。

研究開発 / Research and Development



新規事業開発・改善の革新者

一般的に研究開発部門というと、新規製品の開発というイメージがあると思います。もちろん当社も新たな事業を展開するために新規製品の開発にも注力していますが、更によりよい製品を製造していくために、基礎研究はもちろんのこと新素材研究や分析、試料評価、AI/IoTなど多岐にわたる内容の研究を行っています。

研究開発職の仕事の特徴

まだ世の中にないものを開発するのはもちろんのこと、設計や生産技術といった他部門と切磋琢磨し、今ある課題の解決の一端を担う形で、会社や社会に貢献できます。

生産技術 / Production Technology



コア技術を蓄積したものづくりのプロフェッショナル

当社製品の中には、当社でしかできない技術をもった部品/部材等を含めて多くのコア技術が蓄積されています。生産技術では、このコア技術を安定的に製造するための製品計画や技術改善、品質対応、設備新設検討等多岐にわたる業務で、技術的観点から製造現場を支えています。

生産技術職の仕事の特徴

当社製品の独自性を出していく上で欠かせないコア技術の蓄積とブラッシュアップのための改善の担い手。製品のスペックに大きく影響する製造現場を技術スタッフとして支えている縁の下の力持ちです。

営業 / Sales



お客様と製作所の橋渡し役

当社の営業は、お客様からの要望を製作所の生産管理部門や技術部門と協議し、より良い提案を実施する提案型営業です。また、納入後のアフターフォローやサービスの窓口として、多角的にお客様のニーズに応えています。お客様はもちろん、社内にある関連部門とともにチームでのものづくりを行うための調整役を担っています。当社製品の多くが、海外に向けて出荷されていますので、グローバルに活躍できるとともに、億単位のプロジェクトなど、スケールの大きな仕事をする事ができます。

営業職の仕事の特徴

お客様の理想とする製品をオーダーメイドで製造していくために何度も話し合いを重ねることが不可欠となる仕事ですが、長い付き合いの中でお客様との信頼関係を深めていくことで、そこからまた新たなものづくりが始まります。

数字で見るJSWの技術力

製品別世界シェア

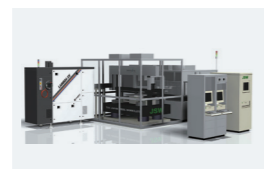
当社製品は、ニッチな分野に絞って製品展開をしており、その中でトップシェアを目指しています。今回はその一部をご紹介します。



プラスチックのベース材料（ペレット）を製造する装置



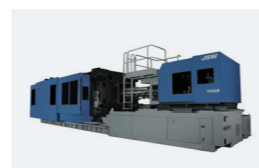
添加剤を混ぜ合わせ、高機能プラスチックペレットを製造する装置※国内シェア70%以上



スマホやタブレットに使われるパネルの製造に不可欠な装置



各種プラスチックフィルムやシート類を製造する装置※セパレータフィルム用



各種プラスチック射出成形品・中空成形品を製造する装置※電動大型射出成形機

※自社調べ

研究開発費

技術力の向上のため、毎年研究開発費をかけて新規製品の事業化にむけて取り組んでいます。

49億900万円

当社の研究開発は、

- 1 現在の主力製品の高機能、高性能化、信頼性の向上
- 2 保有するコア・差別化技術をベースとした新分野製品の開発・育成の推進
- 3 グループ会社とのシナジー効果による新製品の開発・事業化の推進

をベースとし、独創技術で変化を作り出し、社会の発展に貢献する企業を目指し、自社技術による新製品及び生産技術の開発に努めています。



出典：第96期有価証券報告書

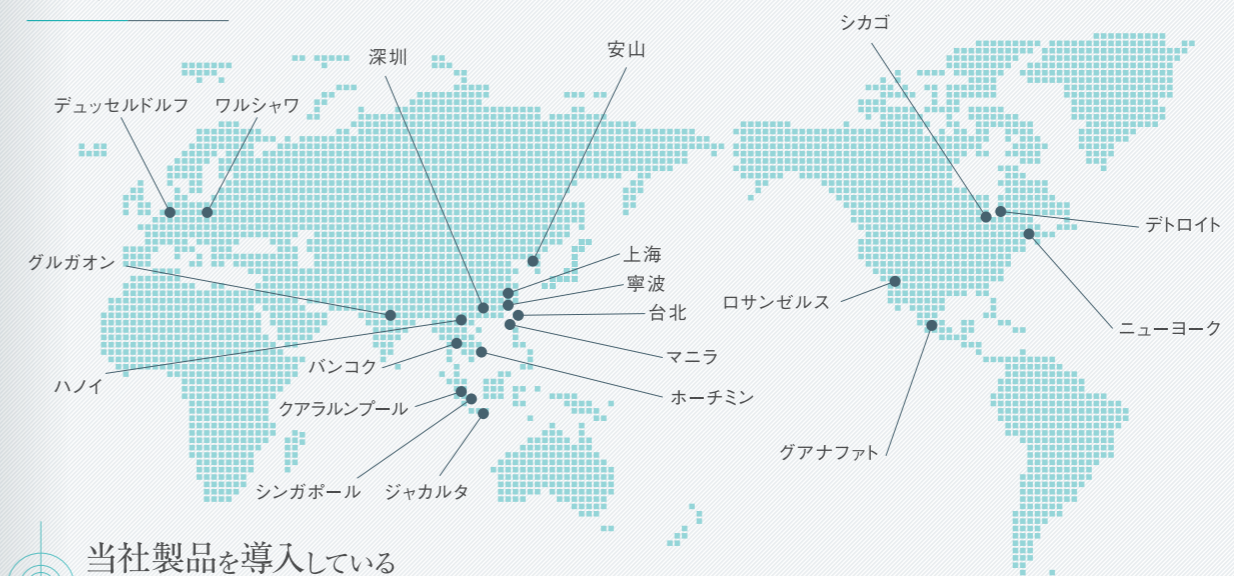
主要拠点

日本製鋼所の拠点は国内外に複数ありますが、主要製造拠点は国内のみとなっており、国内で製造したものを海外に出荷しています。そのため、海外拠点は営業部門やテクニカルセンターを配置しており、世界中に当社製品を展開しています。

国内の主要製造拠点



主要海外拠点



当社製品を導入している

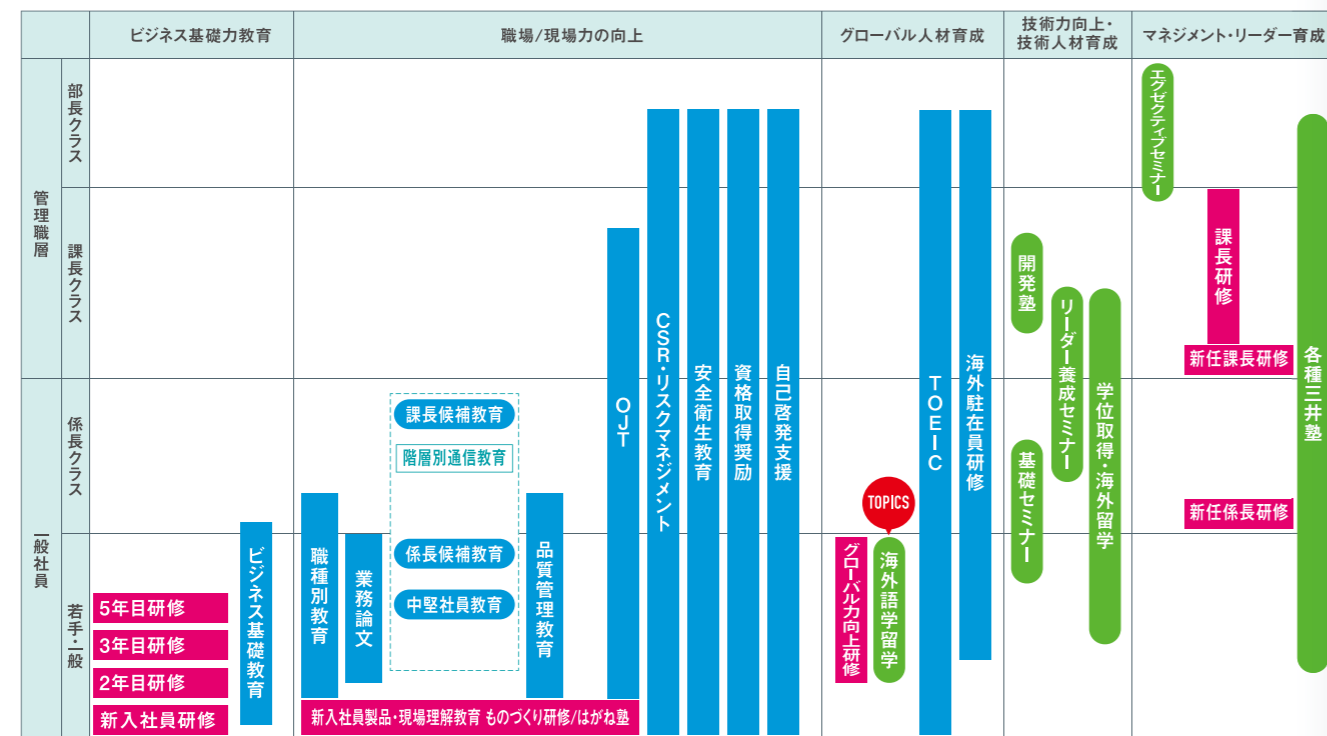
お客様は世界中に広がっています

世界20拠点

研修制度

当社では、人材育成のためそれぞれの職位層で様々な研修があり、日々教育を実施しているものや社内集合研修に限らず、国内外の外部研修にも派遣しています。今回はその一部を紹介します。

※この図は過去5年分の研修を体系化したものです。



TOPICS

海外語学留学研修

グローバル企業を目指すため、多様なコミュニケーション能力の習得により異文化対応できるグローバル人材を育成することを目的に社内選抜された数名が欧米地域へ約4か月間派遣されます。この期間は通常業務は行わず本研修に特化しています。帰国後は、生活の様子、自ら設定した調査テーマに関して経営層の前で発表を実施し、留学の成果をアピールする機会を設けています。



入社5年目までの研修

入社5年目までは複数回集合研修を用意しており、若手から中堅に成長するにあたってのサポートをしています。



晴れて社会人を迎え、最初に学ぶ研修です。マナー研修はもちろんのこと、会社/事業についてより詳細に説明します。また、自分のレベルにあった英語研修により、語学力向上のきっかけ作りをします。もちろん同期同士がコミュニケーションを図れるようなプログラムもありますので、同期との仲間意識を持つことができます。



2年目になると一担当として業務に取り組みますが、今後自分が関わる範囲が拡大していく中で担当業務をやりきするための主体性を含めたコミュニケーション/信頼関係の構築、PDCAサイクルの実践など、業務の遂行にあたっての考え方やスキルを習得してもらいます。



3年目は、仕事にも慣れてくるころですが、壁にぶつかる時期でもあります。そこで、ロジカルシンキングに関する研修を行っています。仕事の効率を上げるためのスムーズなコミュニケーション法や自分の業務において実施すべきことの抜けや漏れをなくし、綿密に考えられるように訓練していきます。



5年目になり、近い将来係長クラスへとキャリアアップしていくこととなります。そのために自分の仕事をブラッシュアップする準備期間です。そして、5年目となる多くの社員が後輩を迎える時期でもありますので、先輩の指導方法についてもレクチャーしていきます。

福利厚生制度

当社では、社員一人ひとりが自身の力を十分に発揮できるよう、充実した福利厚生制度を備えています。今回は、製作所の福利厚生施設と制度の一部を紹介します。

福利厚生施設



独身寮 / 広島製作所：青潮寮



独身寮 / 日本製鋼所M&E(株) 室蘭製作所：鋼友寮



社宅 / 広島製作所：JSWcourt広島

カフェテリアプラン

各種優待サービスや多様な用途に使えるポイントを配布しています！

毎年社員一人ひとりに定額のポイントを付与され、各社員が健康、自己啓発、育児・介護、余暇などの多彩なメニューの中から自分が気に入ったものを選択し、付与されたポイントを全額もしくは一部に使用することで選択したメニューをお得に利用できる制度です。また、それとは別に法人優待サービスもあり、付与されたポイントを使用せずとも会員証を提示するだけでホテル宿泊やフィットネス等で割引が受けられます。

カフェテリアプラン使用例

各種費用を補助しています



自己啓発

語学・趣味カルチャー各種講座の受講、語学教材、e-ラーニング受講



介護・育児サービス利用

育児施設、保育、学習塾、音楽教室、介護施設等



宿泊

ホテル・旅館、パッケージツアー・日帰りツアー、入湯税、サービス料



資格取得

受験・検定料、資格更新料、運転免許取得



ヘルスサービス用品

治療、入院、保険適用外の自由診療、メンタルヘルス・カウンセリング等



スポーツ施設

スポーツジム施設、スポーツ教室、スポーツ用品等



リラクゼーション

日帰り温泉・スパ等の利用、マッサージ、整体、ヘアサロン等



人間ドッグ利用

世の中の不可能を可能にするためにあなたは

未来に向けてどんなものをつくり出すのでしょうか。

あなたのその強い意志と創造力で未来は変えられます。



株式会社日本製鋼所

採用窓口

〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー
人事教育部採用・教育グループ

TEL : 03-5745-2031 / FAX : 03-5745-2036

採用活動専用メールアドレス

> recruit@jsw.co.jp



採用サイト

> www.jsw.co.jp/recruit/

